

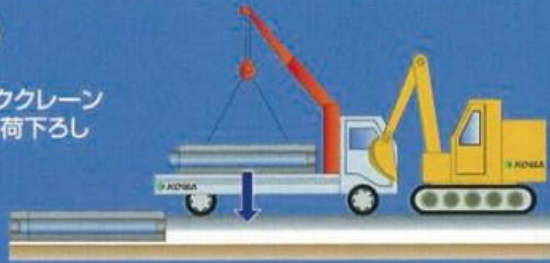
メンテナンス対応型ブロックと従来のブロックの施工手順の比較

従来型との比較

従来：プレキャスト消雪パイプの据付

①

トラッククレーンによる荷下ろし



②

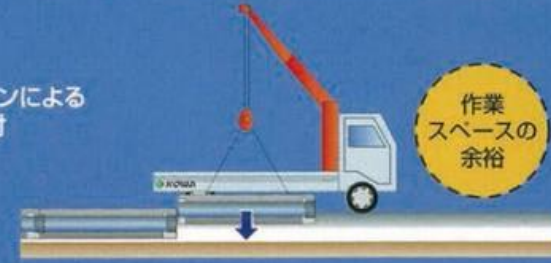
トラッククレーンとバックホウによる据付（躯体をスライド）



消雪パイプブロック（メンテナンス対応型）の据付

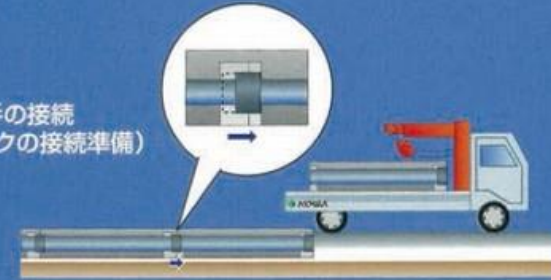
①

トラッククレーンによる荷下ろし+据付



②

スライド式継手の接続（+次のブロックの接続準備）



工期短縮

コストの縮減

安全性向上

重機作業の
軽減

従来は、クレーン付きトラック等でブロック躯体を持ち上げ、後部端面をバックホウ等で押してスライドさせることにより据付を行っていました。新型ブロックでは、継手の接続を別途行うため垂直設置が可能となり、重機作業が軽減される等、いくつものメリットがあります。